

演題名 褥瘡エコー検査のススメ  
施設名 四万十町国保大正診療所  
発表者名 大川 剛史

発表者メールアドレス [ots14familytaishou@yahoo.co.jp](mailto:ots14familytaishou@yahoo.co.jp)

#### 発表内容

##### 【はじめに】

褥瘡の超音波検査によって深部組織損傷（DTI）の診断、皮下ポケットの計測、さらにはカラードプラーを使うことで炎症の推移を観察することが出来る。

##### 【褥創エコーの意義】

“皮膚下の褥瘡がどうなっているのか？”

褥瘡エコー得られた深部組織のダメージや皮下ポケットに関する客観的な情報を看護スタッフと共有することで、除圧を徹底するといった具体的な看護計画の実践につなげ、より良い看護ケアができる体制の一助となれば幸い。

##### 【結果】

褥瘡エコーで得られる情報で最も大切なのはDTI（深部組織損傷）の診断が容易である。すなわち早期にDTIを診断し、除圧などの看護ケアを徹底することによって、褥瘡の重症化を最小限に抑えることが期待できる。

##### 【考察】

褥瘡エコーで得られた情報を診療所多職種スタッフと共に共有することで、具体的なケアの目標の立案や治療方針の決定、患者家族への説明等のツールとして役立つうえ、診療所の褥瘡診療に対するモチベーションを高めるものであると考えられる。